

4) 観光特性

箕面市中心市街地の観光・文化資源



(1) 箕面公園と滝道

昭和 42 年に東京の高尾山とともに「明治の森国定公園」に指定された、関西有数の景勝地である。年間約 250 万人の観光客が訪れ、秋の紅葉狩のシーズンには、1日に最大約 3 万人の観光客が訪れる。箕面駅前から箕面大滝に続く、自然に包まれた延長 2.7km の遊歩道は「滝道」と呼ばれ、レクリエーションの場としてハイカーを中心に親しまれている。

滝道の入口付近には、土産物店や旅館が連なり、紅葉の天ぷら、止々呂美三品といった地元特産物の販売を行っている。滝道には、歴史に裏付けられた格調高い景観を形成している瀧安寺や、昆虫館などの施設がある。瀧安寺は、650 年に建立され、日本四弁財天の一つが安置されている。また、箕面大滝から北西に進むと、西国三十三箇所巡りの二十三番札所である勝尾寺がある。



左上：滝道（入口付近） 右上：滝道（川沿い）
 左下：瀧安寺 弁財天 右中：瀧安寺
 右下：勝尾寺



(2) 箕面温泉

箕面駅前から徒歩 5 分の立地にあり、500 名以上の収容人数がある箕面観光ホテル、大浴場スパガーデンや高原テニス、高原プール、箕面ボウルといったレクリエーション施設が複合し、箕面市の一大集客滞在拠点となっている。

(3) 芦原公園周辺

芦原公園の周辺には、メイプルホール、中央図書館、郷土資料館などの公共・文化施設が集積している。メイプルホールでは、市民の生涯学習の拠点として、様々な催し及び、市民活動が行われている。郷土資料館は、如意谷銅鐸などの郷土の考古資料、日本陣などの史跡資料、農具などの生活資料などが展示され、箕面の歴史と文化を次代に伝えている。

(4) 旧西国街道

都市計画道路桜井石橋線はかつての西国街道であり、江戸時代、参勤交代や西国巡礼で賑った。半町本陣跡、瀬川駅、牧落の高札場跡など、道路沿いの所々に案内板が設置され、その歴史を伝えている。また、旧西国街道を萱野方面に進むと、赤穂浪士で有名な萱野三平の旧邸長屋門が現存している。



(5) 大正住宅博覧会の洋館群

桜ヶ丘2丁目に現存する、日本近代建築史上、価値の高い洋館群。大正11年に、当時の住宅改善と郊外住宅運動のさらなる普及発展をめざし、「桜ヶ丘大正住宅改造博覧会」が開催され、25戸の住宅作品が出展された。また、博覧会終了後は分譲される予定であったため、本格的な宅地造成や周辺整備も行われた。現在も、道路の形態などは当時のままであるほか、10戸の住宅が現存し、実際に住み続けられている。

現在の生活様式の原点と言える貴重な住宅地であり、一部が登録文化財に指定されている。



(6) 箕面川

本市と池田市を流れる延長約 12km の一級河川。箕面ダム、箕面大滝がある上流～中流部分は自然に囲まれ、多くの水生生物を見ることができる。第一総合運動場の傍に、親水公園（箕面西公園）が整備されている。

箕面市のイベント・まつり

春	4月	採灯大護摩供（瀧安寺）
	5月	新緑カーニバル
	6月	余野川 アユ釣り解禁
夏	7月	採灯大護摩供（瀧安寺） 箕面まつり（芦原公園） 牧落八幡大神宮夏祭り（西小路）
	8月	サマーフェスタ箕面公園（箕面公園周辺） 納涼の夕べ 万燈籠（白島他） 白島太鼓念仏講（白島） 水神白姫大明神夏大祭
秋	10月	春日神社まつり（小野原） 牧落八幡大神宮秋祭り（西小路） 天狗まつり（箕面聖天宮西江寺） 虫供養（西江寺）
	11月	もみじまつり（箕面公園） 採灯大護摩供（瀧安寺） 止々呂美亥の子
冬	1月	富くじ（瀧安寺） 余野川 アマゴ・イワナ・マス釣り解禁 初はらい荒神大祭（勝尾寺）
	2月	温泉まつり（滝道～温泉町） 星まつり（帝釈寺）

箕面商工会議所ホームページ 参照